

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します

地域づくりフォーラム 顔の見えるつながりを築く ～小地域ケア会議の活動から考える～

「地域づくりフォーラム 絆」が9月23日、市民会館で開かれ、約700人の参加者は、住みやすい地域づくりに向け、人と人とのつながりをより強くすることの重要性を考えました。

高齢者の見守りを中心に活動する小地域ケア会議を知ってもらおうと、この会議のメンバーらが寸劇「いま、あなたに伝えたい！小地域ケア会議の魅力」を披露。同会議は、民生委員や福祉委員らが構成メンバーです。市内全域を対象に、おおむね公民館の分館単位の21地区で組織されています。それぞれの会議で高齢者や地域が抱える課題を話し合い、見守り台帳の整備などに取り組んでいます。

シンポジウムでは、「人が地域が元気になる！絆づくりの実践報告」をテーマに、4人のシンポジストが意見交換。下倉地区小地域ケア会議の安本美喜男委員長は、見守り台帳や見守りマップなどを作成したことを紹介、「地域の意識が高まり、活動が

広がった」と、小地域ケア会議のより一層の充実を目指すとししました。池田地区福祉委員会の山本繁会長は、「百歳体操やサロン、地域での声掛けなどの活動が高齢者を変えた」と、高齢者同士の輪の広がりを強調。市社会福祉協議会の佐野裕二事務局長は「地域の課題が、しっかりと見えるようになった」と、小地域ケア会議の活動を高く評価。高齢者からの相談や介護予防などに取り組む地域包括支援センターの職員の秋山星恵さんは「地域と連携して、顔の見える関係を築いていきたい」と、見守りの輪を広げたいとししました。コーディネーターを務めた高知県立大学社会福祉学部の小坂田稔教授は、「地域内のつながりである絆（共助）の力を地道に積み上げていくことが大切。一人ひとりができることを考え、形にしてほしい」とまとめました。

65歳以上の人の割合を示す高齢化率が、総社市ではほぼ4人に1人の23.3%（平成23年9月1日現在）。



小坂田稔教授



安本美喜男さん



秋山星恵さん



山本繁さん



佐野裕二さん



小地域ケア会議の取り組みを紹介した寸劇。写真は、見守り台帳をもとに、家族に連絡をするシーン

問い合わせ 地域包括支援センター (☎92-8244)



フォーラムの様子

「おじいちゃん、おばあちゃん、安全運転でね」といった、孫から祖父母へのメッセージをしたためた「交通安全まごころカード」を使って、悲惨な交通事故が少しでも減るよう、交通安全の輪を広げています。

カードは、孫から祖父母にプレゼントしてもらったので、カードの提供と仕上げのラミネート加工は総社署で行っています。孫の写真と孫の直筆のメッセージのカードをもらったおじいちゃんおばあちゃんは、今まで以上に、運転や事故に気を付けてくれるのではと考え、始めました。

市内の小学1、2年生を対象に7月下旬以降、学校を通じて希望者を募集し、約250人分のカードを作りました。

今後、学校や町内会、交通安全母の会などの団体で、申し込んでいただければ承ります。皆さん、おじいちゃんやおばあちゃんのために



交通安全まごころカードの一例

ためについで。(安田勝二さん・総社警察署交通課長)

MINIにくつついたミニカーは色も形もそれぞれで、一つとして同じものはありません。目の色の違い、背丈の違い、肌の色の違い、障がいがある人。みんなそれぞれの個性なのです。

私の2歳になる娘には障がいがあります。そのわが子が物心つくころに、その障がいを説明するため、このMINIを作りました。車の後ろに書いた「君は君だから」という言葉には、君は君なのだから、君ので



れとろ一とで展示されたMINI。本文同様のメッセージが掲出され、多くの人が読んでいた

きる精一杯で生きてほしい。そんな願いを込めています。しかし、病で苦しんでいるのは、わが子だけではありません。病に苦しみながらも、日々がんばっている人がいます。この車を通し、少しでも笑顔を分かち合えればと。

そして、家族や恋人と話してみたくて、「あのMINIにはこんな理由があるんだって」。そして、障がいを少しだけ理解してください。病気をもつ人たちを少しだけ理解してください。そんな話がこの車でつながれば幸いです。(妹尾鉄雄さん・井尻野)

今月の表紙

総社高校で9月30日に行われたスタントマンによる自転車事故の擬似事故。衝撃的な一瞬。

編集後記

■「れとろ〜ど」で売られている竹細工に魅了され、今年も足を運んだ。MINIにも釘付けになり楽しいひと時を過ごした。

■来年のそうじゃ吉備路マラソンに向けて体力づくりを始めなくては。もちろん、取材であちこち走り回るために。

■住宅街のなかの交差点で、一旦停止と安全確認を行わず交差点を走り抜ける自転車をよく見る。表紙の写真を見ながら、安全運転とは何か、自転車と自動車に乗る人に考えてほしいと思い表紙に採用した。

チェッピーのジクソーパズルが当たる

広報クイズ

今月の『広報そうじゃ』を読んで、次のクイズにお答えください。

Q1 そうじゃ吉備路マラソンの開催日は、来年〇月〇日

【応募方法】 はがきに答えと住所、氏名、電話番号、市政や広報紙に対するご意見やご要望を明記のうえ、編集室へ。正解者のなかから2人にチェッピーのジクソーパズルを贈ります。

【応募期限】 11月30日(水)

【9月号の答え】 23人

【9月号の当選者】 森延千穂子さん(上原)、平田三枝子さん(清音柿木) [応募者数15人]

■応募先 〒719-1192 中央一丁目1番1号 総社市役所企画課

市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。

このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に
美しい環境をまもりましょう。
- 1 生涯学び
明るい家庭をきずきましよう。
- 1 たがいに助け合い
あたたかいまちをつくりましよう。

市の花・木・鳥

- ◎市の花/れんげ
- ◎市の木/もみじ
- ◎市の鳥/タンチョウ